

知的財産事例

有限会社バースケア

“すぐ乾く”快適で清潔なバスマットを生み出したい あくなき探求心で長年研究、需要に対応する商品を開発

事業内容

2003年設立
業務用バスマット・サウナマット製造販売
キトサン液販売

知的財産権と内容

特許第6712694号	足拭き装置及び足ふきマットシステム
特許第5750633号	足拭き乾燥マット
実用新案第3192357号	水回りマット
商標第6105891号	ゼロマット
意匠第1717700号	バスマット用乾燥装置

他 商標権2件

(2025年7月現在)

ACTIVITIES & ACQUISITION IS INTELLECTUAL DATA



中央:代表取締役 飯尾 守さん
左:(株)スマット代表取締役 近藤 勉さん
右:共同開発者 高田 豊さん

2人の経営者が協力し

研究機関とも連携しながら製品を開発

業務用バスマット等の開発・製造・販売を手掛けている飯尾代表は、リネンサプライ業を営む近藤代表と出逢い、温浴施設において、1日に何度もバスマットの交換を行わねばならず、コストや労力が課題となっていることに着目。「もっとニーズに寄り添ったものを作れないか」との想いで、共同開発を開始した。以来、利用者や温浴施設の従業員などユーザー目線のアイデアを主軸に、技術的な部分は群馬県立産業技術センターのバックアップを受けつつ、三者一体となって開発を進めてきた。長年の研究により生み出された業務用のバスマットは、速乾性や耐久性、抗菌、防臭などに優れ、全国の温浴施設を中心に納入されている。産業技術センターやINPITからの助言もあって、知的財産権の取得に関しても前向きに取り組み、「スマート敷きマット『Smat』」の技術では、群馬県と共同で特許権も取得した。

特許も取得した

顧客ニーズに寄り添う「究極のバスマット」

「スマート敷きマット『Smat』」は、独自の構造により常にさらっと快適な状態をキープできる画期的な製品で、顧客からの評判を集めたが、温風装置が併設されていることから、「躓くのではないか」という懸念の声もあった。そこで、安全性・信頼性・取り扱いや

すさの3点を軸に数えきれないほど試作を重ねてフルフラットに改良した。これを当社の抗菌仕様バスマット『ゼロマット』と組み合わせることで、常時バスマットを乾燥させることができる。温浴施設に敷かれたマットは、利用者が代わる代わる訪れると常に濡れている状態となり、不快に感じやすい。それを解消すべく、空間の熱と体圧を利用してスピーディーに乾燥させる技術を開発。「軽くて持ちやすいものを」という現場の声にも耳を傾け、10kg以上あった重量も4~5kgへと軽量化した。特許や商標によるブランド力も原動力となり、展示会でも「ぜひ導入したい」と、価値を認められる機会が増えたという。

ビジネスパートナーとの縁から 伴走支援を受けて知財を取得

特許取得の経緯は、産業技術センターの共同開発者から「新しい発想なので、積極的に申請した方がいい」と勧められたことが大きいという。また、会社設立直後に、会社名の商標登録について相談した背景から、INPITの担当者も身近な存在だった。こうした知財に精通するメンバーが開発のプロジェクトチームに参加していたため、手続きに関しても非常に助けられたそうだ。また、自社だけでは資金的にも厳しかったところ、群馬県のぐんま新技術・新製品開発推進補助金や小規模事業者持続化補助金などを活用できたことで無事に製品化を遂げられた。今後もより防臭効果を高めるア

ロマ機能や、スマホでの利用人数カウントなどの管理機能が搭載されたマットの開発、介護施設向けの消臭製品をはじめとする周辺アイテムの開発など、新たな方向性も検討しながらアイデアを生み出していく方針だ。知財についても、類似品への対抗戦略のひとつとして、意匠等も含めて積極的に取得・活用を進めていきたいという。

知財取得・活用における苦悩



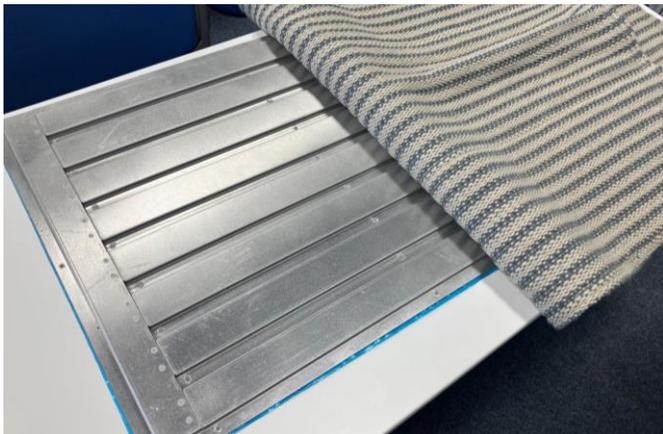
知財の申請・取得に関しては産業技術センターやINPITとも連携し、伴走型の支援を受けられたため、幸いそれほど苦労はなかったという。しかし「スマート敷きマット『Smat』」の製品化に際しては、国のPSE認証がなかなか取得できずに苦労したそうだ。特に中国製の部品の使用等が原因で、取得までには1年以上の時間を要した。もっとも、この経験があったことによって、低電圧モデ

ルであるフルフラット型の開発が進んだ。「困難な課題に対しても常にポジティブに解決策を考えられたことが成功のカギだ」と飯尾代表は話す。

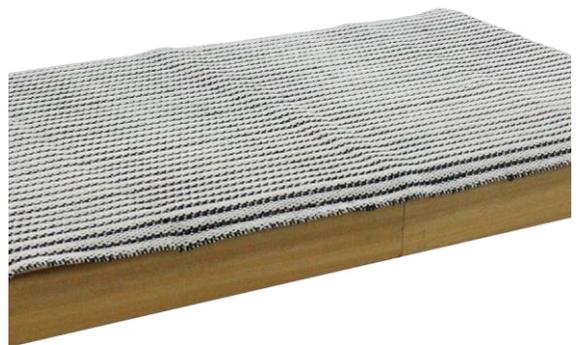
知財取得を目指す経営者へのメッセージ



飯尾代表と近藤代表は、「当社にとって、特許は“安心感”や“モチベーション”に繋がっている。客観的に評価されることも自信となり、『これはうちの商品だ』と誇りを持てるようになったため、職場の空気も良くなった」と語り合う。そして「5年後、10年後のためにチャレンジする姿勢が大切。既存の商品であっても、仲間とともに“究極の形”を模索することが開発のきっかけになることもある。自分の力では難しい、と諦めず、まずは自治体や支援機関を頼ってみることをおすすめする」とも続けた。



「スマート敷きマット『Smat』」フルフラット型。バスマットの下に敷いて使用する



速乾性の抗菌防臭繊維を用いて臭い軽減にもこだわったサウナマット『プロ仕様Black』



知的財産活用のポイント

顧客への想いから、信念を以て発想を追求 専門家との協力により、円滑な開発を実現

当社は、当初から産業技術センターと連携し、それぞれの得意分野を活かしながら堅実に研究を進めてきた。主要製品の開発・改良においては長い年月をかけて試行錯誤を重ね、製品の信頼性や使用感を向上させるべく、時には稼働している施設で

のフィールドテストを行うなど、たゆまぬ努力の末、ようやく形になったという。その真つすぐな姿勢からは、元々当社を設立した目的である『人々にとってより良いバスマットを』との想いもうかがえる。諦めずに課題を解決しようとする代表たちや開発者のポジティブな情熱と、それを支えた産業技術センターやINPITの専門性が、他ならぬ特許技術を生み出した。

COMPANY DATA

取材：2025年7月

企業名：有限会社バースケア 所在地：群馬県吾妻郡中之条町大字伊勢町886 ひらいしビル3F 電話番号：0279-75-6056

URL：<https://bath75care.wixsite.com/website> 創業：2003年 資本金：300万円 従業員：3名

